

平成 28 年度

渡嘉敷村観光受入体制整備事業
「渡嘉敷島ガイドブック制作業務」

業 務 報 告 書

株式会社 ライヴス

代表取締役 清家 貴

沖縄県那覇市字小禄 1831-1
沖縄産業支援センター509号室

Tel:098-996-2272 Fax:098-996-2273

1. 本業務について

1-1 本業務の目的

渡嘉敷島の魅力を内外に発信するために、村内外で開催されるイベント等で配布でき観光客（国内外）に対して観光PRに繋がるようなガイドブックを制作する。

また、ガイドブックには渡嘉敷の宿・飲食店情報・アクティビティ等、島を訪れた観光客（国内外）に役立つ情報を含める。

1-2 本業務の実施期間

平成28年5月25日から平成29年3月21日まで（301日間）

2. 実施状況

2-1 渡嘉敷島ガイドブック制作

(1) 概要

① 表記言語・冊数

日本語版：2万部 英語版：1万部 中国語繁体版：1万部 韓国語版：1万部

② サイズ

B5判（182mm×257mm）

③ 製本

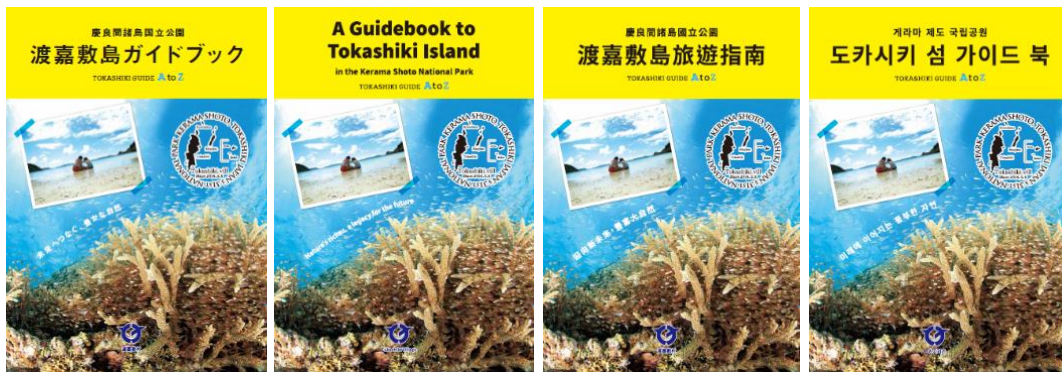
中綴じ製本 両面カラー印刷 8ページ

④ 用紙

ユトリロマット紙 110Kg

(2) 成果物

① ガイドブック（冊子）



■日本語版

■英語版

■中国語繁体字版

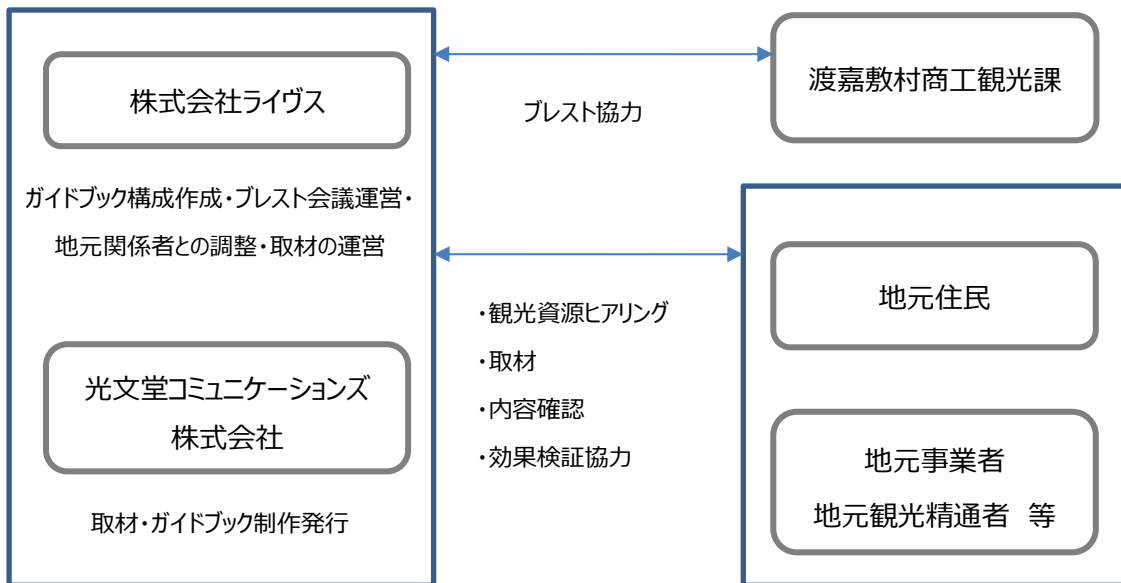
■韓国語版

※別途「渡嘉敷島ガイドブック（小冊子）」を参照

② CD-ROM

- ・PDFデータ 各言語1枚、計4枚
- ・編集可能なaiデータ 各言語1枚、計4枚

(3) 実施体制



2-2 ガイドブック制作委員会開催について

(1) ガイドブック制作委員会の設置

本事業を実施するうえで、関係者が活発に議論し、円滑な合意形成が進むようガイドブック制作委員会を設置した。

(2) ガイドブック制作委員会の開催実績

ガイドブック制作委員会のメンバーは、住民に参加を広く呼び掛け、住民が参加しやすいよう、時間帯を工夫し、計3回、5か所で実施した。

※会議録は別添「ガイドブック制作委員会会議録」参照

(3) 第一回

<第一部>

① 日時

平成28年7月19日（火） 15:30～17:30

② 場所

阿波連生活館

③ 参加者

合計 5人

No.	名前（敬称略）
1	金城 和子
2	金城 肇
3	国吉 美穂
4	新垣 利津子
5	関根 史郎

④ 開催風景



<第二部>

① 日時

平成28年7月19日（火） 18:00~19:30

② 場所

渡嘉敷村中央公民館

③ 参加者

合計 2人

No.	名前（敬称略）
1	金城 良則
2	荒下 典子

④ 開催風景



<第三部>

① 日時

平成28年7月19日（火） 20:00~21:30

② 場所

阿波連生活館

③ 参加者

合計 6人

No.	名前（敬称略）
1	池松 来
2	国吉 真之助
3	国吉 晴大

4	長谷 和典
5	東恩納 晶子
6	番田 武六

④ 開催風景



(4) 第二回

① 日時

平成 28 年 8 月 22 日 (月) 20:00~22:00

② 場所

阿波連生活館

③ 参加者

合計 9 人

No.	名前 (敬称略)
1	池松 来
2	国吉 真之助
3	国吉 晴大
4	長谷 和典
5	金城 肇
6	金城 雄治
7	金城 涉
8	関根史郎
9	田中守

④ 開催風景



(5) 第三回

① 日時

平成 28 年 10 月 12 日 (水) 19:00~21:00

② 場所

阿波連生活館

③ 参加者

合計 7 人

No.	名前 (敬称略)
1	池松 来
2	國吉 真之助
3	國吉 晴大
4	金城 肇
5	長谷 和典
6	金城 涉
7	古賀 寿雄

④ 開催風景



3. 本業務について

3-1 総評

(1) 本ガイドブックのターゲットとコンセプトについて

ガイドブック制作委員会にて、本ガイドブックのターゲットと役割について話し合った。その結果、本ガイドブックの役割を、「渡嘉敷島を訪れる予定、もしくは訪れている観光客」に向けて、「快適に過ごすための便利な情報を提供する」とした。

その背景として、渡嘉敷島の新たな観光資源をPRしようとしても、現状では閑散期に十分な受入体制がなく、すぐに案内できる新しい観光メニューがないことが上げられる。一方、既存のサービスも、まだ告知が十分とは言えないため、まずは、すでに来ている観光客に対して、既存のサービスを確実に伝えることが重要であるとの結論に達した。

(2) ガイドブック制作委員会について

全3回計5ヶ所で実施したガイドブック制作委員会は、当初、参加人数が少なかったが、基礎調査事業との連携もあり、第2回、第3回は、10名前後の参加者となり、メールや電話でも意見や情報を頂くことができた。

当委員会では、ガイドブック制作に限らず、渡嘉敷島の観光全般について議論が白熱し、1時間以上、予定終了時間をオーバーすることもあった。

今後、以下のような意見を反映するための場を持つことが必要と思われる。

<参加者から出された意見>

- 国立公園としてのルールを明確に策定すべき
- 安全面のルールを統一するべき
- 宿泊施設はアメニティの用意をもっと徹底した方がよい
- 開いている飲食店が少ない、との相談が多いので、対策を考える必要がある
- 単なる観光客を増やすのではなく、国立公園としてのブランディングをするべき

(3) ガイドブックの内容について

国内旅行者向けの日本語版と、外国人観光客向けの多言語版とでページ構成を別にした。

日本語版については、国立公園に選ばれた慶良間諸島の渡嘉敷の魅力が一読して伝わるコンセプトページと、観光客が島に到着してから必要となる情報の順番

でコンテンツを並べ、島内交通、グルメ、レジャー、宿泊について、地図と事業者一覧を作成し掲載している。

外国語版については、外国語での受入対応事業者が多くないため、事業者情報は詳細に掲載せず、地図や観光名所の情報を掲載した。また外国人観光客受入で、受け入れ側の住民が最も不安視している、外国人観光客の滞在時のマナーについての情報を掲載した。

① 日本語版の内容と各ページのポイント

P.1

表紙

渡嘉敷島の、貴重な動植物の生態系を伝える珊瑚と魚の写真と、小さい子どもを連れたファミリーや海水浴客からブローのダイバーまで楽しめる、渡嘉敷島の裾野の広さを表すビーチで遊ぶ子どもたちの写真を組合せた。

P.2 P.3

コンセプト

渡嘉敷島の魅力を見開きで分かり易く表現した。海（Nature）、自然体験（Adventure）、文化（Culture）を組み写真で視覚的に伝え、渡嘉敷島を含む慶良間諸島が8つの国立公園に選ばれた理由を、写真を交えて紹介している。

P.4 P.5

地図

渡嘉敷島に到着した観光客が先ず必要になる、島内交通の案内を2見開き目に掲載した。島全体の概要（港と二つのビーチ、公共トイレの場所など）が一目で分かる全島MAPと、交通機関の連絡先を明記。また「坂道が多い」など実用的な注意事項も掲載した。

P.6 P.7

グルメスポット

観光客から最も問い合わせが多い、渡嘉敷島の飲食店を紹介している。21時には多くのお店が閉まってしまう、冬季休業のお店もあるなど、渡嘉敷島ならではの事情も明記した。

P.8	P.9
-----	-----

マリンレジャー

渡嘉敷島の一番の魅力でもある海を楽しむためのマリンレジャーを紹介。ダイビング以外にも、SUP やカヤックなどの初心者でも楽しめるメニューや、日中だけでなく夕方から楽しめるメニューも紹介している。

P. 10	P. 11
----------	----------

楽しみ方いろいろ

渡嘉敷島の楽しみが夏場のマリンレジャーだけではないことを伝えるため、冬季や雨天時にも楽しんでもらえるメニューを紹介している。併せて、渡嘉敷島でのショッピングのおすすめメニューも掲載している。

P. 12	P. 13
----------	----------

宿泊施設

渡嘉敷島を訪れて、気に行きたくても、宿泊施設の一覧や詳細が分からず、困っている方も多くみかけるといった意見があった。宿泊客をなるべく増やしたいので、宿泊施設の一覧を掲載するとともに、宿のアメニティについてや日用品の売店など、宿泊に便利な情報も記載した。

P. 14	P. 15
----------	----------

マナー・ルール
カレンダー

国立公園である渡嘉敷島で過ごす際に、注意しなくてはならない事柄を記載した。観光客の安全を守るためのこと、環境保全に関わることその他、住民や地元事業者が困っているマナーに関すること（水着姿で歩かないなど）を掲載した。
また、渡嘉敷島のイベントカレンダーを掲載した。

P. 16

旅の便利情報

裏表紙に、渡嘉敷島に行こうと思った人に便利な情報を記載した。

- ・島外から渡嘉敷島へのアクセス情報
- ・渡嘉敷島に行く前の注意事項
- ・観光・船舶の問合せ先
- ・島内の Wi-Fi スポット

② 多言語版の内容と各ページのポイント

P.1

表紙

渡嘉敷島の、貴重な動植物の生態系を伝える珊瑚と魚の写真と、小さい子どもを連れたファミリーや海水浴客からプロのダイバーまで楽しめる、渡嘉敷島の裾野の広さを表すビーチで遊ぶ子どもたちの写真を組合せた。

P.2 P.3

コンセプト

渡嘉敷島の魅力を見開きで分かり易く表現した。海（Nature）、観光名所（Adventure）、文化（Culture）を組み写真で視覚的に伝え、渡嘉敷島を含む慶良間諸島が8つの国立公園に選ばれた理由を、写真を交えて紹介している。

P.4 P.5

島内交通

旅慣れない外国人観光客でも安心して島内を歩けるように、島全体の概要（港と二つのビーチ、公共トイレの場所など）が一目で分かる全島MAPと、各地域の地図を記載した。各観光地間の距離と公共バスの時刻表、交通機関の連絡先も明記した。

P.6 P.7

マナー・ルール
カレンダー

渡嘉敷島で過ごす際に注意しなくてはならない事柄を記載した。観光客の安全を守るためのこと、環境保全に関わることその他、住民や地元事業者が困っている外国人観光客のマナーに関すること（トイレの使い方、大声で話さないなど）を掲載した。
また、渡嘉敷島のイベントカレンダーを掲載した。

P.8

旅の便利情報

裏表紙に、渡嘉敷島に行こうと思った外国人観光客に便利な情報を記載した。

- ・ 島外から渡嘉敷島へのアクセス情報
- ・ 渡嘉敷島に行く前の注意事項
- ・ 観光・船舶の問合せ先
- ・ 島内のWi-Fiスポット
- ・ OCVBの多言語コンタクトセンター情報

3-2 今後の課題

(1) 観光客への情報提供の手段について

観光客の情報収集手段は、紙媒体のみでなく、インターネットの利用も増えている。

全体の情報を把握するためには紙媒体を利用するが、詳細情報を知るためにWEB媒体で情報を検索する、事前に予約するものはWEB媒体を使うが、現地での情報収集は紙媒体を使うなど、利用シーンや目的によって、紙媒体とWEB媒体の両方を使い分けることが一般的になってきている。

その現状を踏まえて、今後はWEB媒体やSNS、携帯アプリ等を活用した情報提供の方法を充実する必要がある。

渡嘉敷島の観光を取り巻く現状を考慮すると、店舗の営業時間、休業や、船便の運行情報など、リアルタイムに更新すべき情報も多いため、紙媒体と併せてWEB媒体の活用も重要度を増している。

(2) ガイドブック制作委員会について

ガイドブック制作委員会に参加してくださった住民の方々は、基礎調査事業などにも積極的に参加してくださったが、回を重ねると、阿波連地区の観光事業者を中心にメンバーが固定する傾向があった。毎回参加してくれる方が増えるのはとてもよいが、今後、渡嘉敷村全体の方向性や課題を議論していく上では、渡嘉敷地区の住民の方や、観光以外の職種に従事している方、役所の他の課に勤める方など、様々な立場の方が参加できる方法を考える必要がある。